

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 324

政策体系	14	事業分類	ソフト事業	所管部局	
会計	一般会計	科目	4. 衛生費 - 1. 保健衛 - 1. 保健衛 現年		
事業名	健康づくり推進事業				
細事業名	健康づくり推進事業				
評価表作成者				市民福祉部 保健医療課	小林 早苗

1. 事業の概要

健康づくり推進協議会で健康課題を明確にし、健康づくりの指針と方策を検討した。
食生活改善推進協議会等の地区組織活動の支援と育成を行った。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

市民の健康づくりの支援を、住民組織を通じて実施した。

② 事業を実施する必要性

心臓病・がん・脳卒中が市の主な死亡原因であり、それぞれの疾患が医療費の増加・要介護原因疾患・個人のQOLの低下の大きな要因となっている。

市民の健康意識を向上させ、主体的に健康づくりを展開し、南丹市の健康環境を引き上げるために必要な事業である。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	747	738	822	789	2,812	831	1,000
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	232	224	200	200
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	747	738	590	565	2,612	631
職員等の従事人員	人/年	—	0.44	0.62	0.92			
人件費	千円	—	2,803	4,214	6,346			
事業費総額	千円	—	3,541	5,036	7,135			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

健康づくり推進協議会の開催	103,000円（報酬、消耗品）	
献血実施者への記念品費	208,864円（謝礼）	食生活改善推進員の研修
45,350円（講師料、消耗品）		
食生活改善推進員伝達講習会への助成	152,143円（通信運搬費、補助金）	
じん肺患者同盟補助金	280,000円（補助金）	

5. 事業結果の概要

食生活改善推進員育成研修の実施	7回延べ212人
食生活改善推進員による伝達講習会	45回
献血実施者	961人

6. 活動の詳細

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

栄養士を中心に、食生活改善推進員の地区活動に積極的な支援が行えた。食育推進にむけて他課との協議の中、食育計画の策定を行いたい。健康づくり環境の取り組みとして、公的施設の敷地内禁煙実現に向け、支援を図っていききたい。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

食育の充実が重要視される中、食生活改善推進員の養成講座を開催し、32名の養成ができ、食生活改善推進員協議会の組織強化が図られた。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
栄養士による食生活改善推進協議会への活動支援のため、地域に出向いた活動展開を協議した。
- ②当該事業のアピール事項
各地区組織での健康づくりを積極的に推進していただけるよう支援する事業である。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
地区組織や個人が主体的に健康づくりに取り組むためには、健康環境の向上が必要である。
そのためにも公的施設の敷地内禁煙に早急に取り組むべきである。
じん肺患者同盟補助金については、活動支援も含め引き続き検討していく。